

南砺幸せ未来基金

未来を生きる次世代に南砺の未来資本を！

準備会委員

川合 声一(南砺市観光協会長) 吉澤 保幸(南砺市政策参与) 太田 浩史(大福寺住職)

松本 久介(南砺市自治振興会連合会長) 楠 則夫(NPO 法人心泉いなみ理事長)

栗山 芳雄(南砺市観光協会福野支部長) 長田 一政(南砺森林資源利用協同組合 理事長)

江尻 裕(一般社団法人 森の暮らし研究所) 島田 優平(となみ青年会議所 元理事長)

北川 智之(商工会青年部 部長) 中野 ミチ子(市の里ガイド 代表)

山下 透(津沢小学校教諭 / 元井口小学校 校長) 大塚 千代(南砺市環境保健協議会 理事)

山瀬 悦郎(株式会社つなぐ南砺) 山下 秀樹(山下事務所) 山崎 正治(株式会社つなぐ南砺)

有澤 誠文(富山銀行ソリューションサポート室) 石崎 陽之(北陸銀行地方創生部)

村松 一(一般社団法人リバース・プロジェクト) 南 真司(南砺市政策参与)

川森 純一(南砺市市民協働部長) 上口 長博(南砺市市長政策部担当部長)

柴 雅人(南砺市地方創生推進課長) 市川 孝弘(南砺市南砺で暮らしません課長)

久保 剛志(南砺市エコビレッジ推進課長) 藤井 外史(南砺市農林課林政係長)

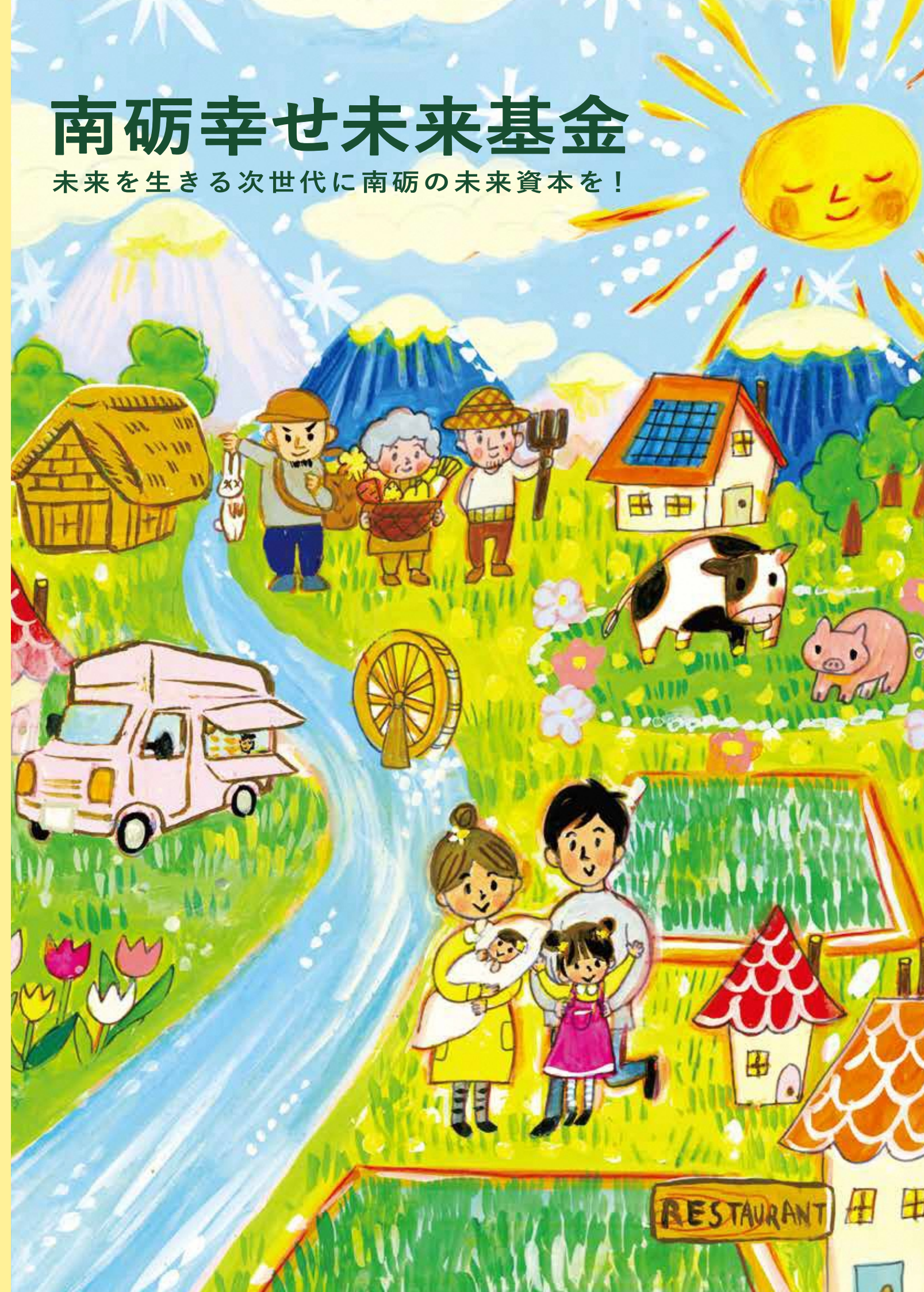
お問い合わせ先

南砺幸せ未来基金設立準備会事務局

住所：〒932-0292 富山県南砺市井波 520

電話：0763-23-2050 ファックス：0763-82-5101

(南砺市役所市民協働部エコビレッジ推進課内)



「南砺幸せ未来基金」設立に向けて

南砺は、豊かな自然の恩恵を受けながら、独自の歴史と文化を育んできました。特に、自然への感謝とお互い様に象徴される当地の精神風土は、「土徳」と呼ばれ、日本的心性として広く讃えられ、皆の誇りとしてきました。

しかしながら、人口減少と少子高齢化はますます深刻さを増し、地球温暖化の急速な進行等もあって、地域経済の縮小やコミュニティの活力低下、自然環境の劣化など、様々な地域課題が表出しています。

こうした中、行政は、人口減少を食い止めると共に、心豊かな南砺を未来に引き継いでいくことを南砺版地方創生の目標に掲げ、エコビレッジ構想や地域包括医療ケア、交流人口増、そして小規模多機能自治等の施策を打出しながら、市民との協働のまちづくりに注力し、市民レベルでも様々な自発的な活動が具体化しつつあることは、ご承知のとおりです。

我々志民有志は、地域資源を最大限活かしながら、南砺各地の取組みが連携しあい、南砺全体の自立循環の姿を描き出し、「この地の誇り」をきちんと次世代にバトンタッチしていくことが何よりも重要と考えます。そして、こうした地域の諸活動が立ち上がり、継続していくためには、補助金頼りになることなく、地域にあるお金を自ら地域内に巡らせる仕組みを、行政や地元金融機関等と一緒に考え、構築し、我々の思いを込めて運営していくことが極めて大切と考え、先行事例として昨年発足した「東近江三方よし基金」の実践を学んできました。

約1年間の検討を経て、我々は、より多くの地域志民の方々からのご支援を得て、「(仮称)南砺幸せ未来基金」を早々に立上げ、基金設立後の持続的運営を通じ、南砺の新たな暮らし方を創出する次世代を担う若者や女性等の活気溢れる活動等を皆で支援し、「未来を生きるこども達に南砺の未来資本を！」創りあげ、繋いでいきたいと念じています。

どうか、設立趣旨ご賛同の上、南砺の未来を構築していくための一歩を一緒に踏み出すよう、基金設立オーナーの一員へのご参画をお願い申し上げます。

「南砺幸せ未来基金設立準備会」
代表 川合声一(南砺市観光協会会長)

南砺幸せ未来基金応援メッセージ

豊かな自然とともに世界遺産の五箇山合掌造り集落や無形文化遺産である城端曳山祭をはじめ、多くの伝統文化は古くから受け継がれてきた南砺の宝物であります。この宝物を守ると共に地域資源を活用し、循環させることで持続可能なまちづくりを進めようと地域活性化事業に取り組んでいます。

循環型社会を進めるにあたり、次世代を担う人材育成や活動支援の仕組みづくりを検討してきたところ、今回、「南砺幸せ未来基金」を創設しようという取り組みが市民の皆様から始まりました。これは、地域を担う次世代人材育成をはじめとした地方創生や地域活性化、エコビレッジを進めることを目的としており、未来の幸せのための基金として期待されます。

再生可能エネルギーの創出や元気な農林業、地域ぐるみの福祉介護、人材育成やふるさと教育など、幅広い活動に対して支援しようというものであり、これからのまちづくりをサポートする体制が整うこととなります。

「南砺幸せ未来基金」の創設とこれからの運用により様々な市民活動が支援されることを期待しており、合わせて多くの市民の皆様のご理解とご活用をお願いいたします。

南砺市長 田中幹夫

南砺幸せ未来基金の 目指すカタチ



事業例：地域をつなぐ地域包括ケア

事業主体：自治振興会・自治会等
地域住民による高齢者の介護予防や日常生活支援、放課後児童クラブなどの子育て支援等を行い、地域の絆や愛着、誇りを醸成し、住み続けられる場所づくりを行う。



事業例：森林資源活用エネルギー事業

事業主体：一般社団法人・株式会社等
市内に眠る森林資源を薪やペレットストーブの熱エネルギー源として積極的な利用を行う。エネルギー購入によるキャッシュアウトを抑制し、適切な森林育成に貢献する。



事業例：空き店舗を地域活性化拠点に

事業主体：株式会社・NPO等
コミュニティビジネスの拠点となる空き家店舗を改修し、コミュニティカフェを開店。地域のマルシェや観光プランを企画・運営するまちづくり会社の拠点とする。



休眠預金とは
長期取引がなく預金者に連絡が取れなくなった預金口座(休眠口座)に預けてある金銭のこと

遺贈とは
運営によって財産を他人に与えること



事業例：伝統工芸技術を生かした商品ブランディング

事業主体：株式会社等
地域に根差す伝統産業や地域森林資源の付加価値を高め、ブランド家具として生産・販売する。森林整備と雇用の創出に貢献するため、伐採から木材加工・販売までをつなぐ。



事業例：土徳文化を生かした次世代育成

事業主体：一般社団法人・NPO等
里山の森林を整備し、こどもたちの心に種をまく体験活動を提供する。森のようちえんやネイチャースクール、エコツアー等も開催し、自然と共生する社会基盤づくりを行う。



事業例：有機農法を中心とした農業食育活動

事業主体：個人事業主、NPO等
炭素循環農法や有機農法など、こどもたちが安心して美味しく食べられる農作物を生産する農業従事者を育成し、その加工/販売過程での付加価値を高める。